



【 子供たちの制作活動の充実 】

○ 昨日、6年生が「井波を感じてみません課」の学習の一貫として、木彫刻作品を制作しています。そのため、2名の井波彫刻師の方が来校され、**木彫りの指導**をしていただきました。子供たちは、木に描いた絵の線に沿って彫刻刀で掘り、その後、絵を浮き上がらせるように彫っていきます。24日（金）にも、別の彫刻師さんが来校し、指導をしていただきます。



○ 彫刻師さんから、彫り方の手順や彫刻刀の選び方を教えていただいたり、彫る技術を個別で教えていただいたりしました。また、彫刻師さんが刃を研ぐ機械を持ってこられ、子供たちの彫刻刀の刃を研いでいただきました。



彫刻師さんの話によると、刃を研いで切れ味をよくすることは、よい作品を作るためにとても大事なことであり、これまでご自身も刃を研ぐことにかかなりの時間を費やして、彫刻制作に取り組んでこられたと聞きました。

○ この彫刻師さんから木彫の指導をしていただくことは、ふるさと学習の一環として、毎年6年生が取り組んでいます。子供たちは、素晴らしい作品を生み出す彫刻師さんの技術の高さを学んでいます。

○ 明日2月23日（木）～3月5日（日）まで、井波総合文化センターで「**第23回いなみ小中アート展**」が開催されます。これまで子供たちは版画の制作に取り組んできましたが、各学年10点程度の作品が展示されます。子供たちの制作活動の成果を広く発信していただけることは、ありがたいことです。

○ ふるさと学習を充実させていただいている地域の方々、地域の施設、地域の催し等に対して深く感謝いたします。

